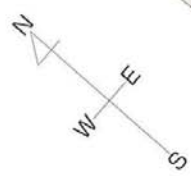




- 1号館①
- 2号館②
- 3号館③
- 4号館④
- 6号館⑥
- 7号館⑦
- 9号館⑨
- 12号館⑫
- 14号館⑭
- 本部棟⑮
- 図書館情報センター⑰
- ロースクール棟⑱
- 100周年記念講堂⑲
- 禅研究所⑳
- 坐禅堂㉑
- エクステンションセンター㉒
- 丸善書店・フォトショップ㉓
- ネットワークセンター㉔
- 情報処理教育センター㉕
- 宿舎㉖
- 学生ホール・ローソン・サブウェイ㉗
- 第1食堂(2008年9月完成)㉘
- 第2食堂(グルリルンデン)・ロータス㉙
- 第3食堂・AGUライフショップセンター㉚
- トラベルセンター・成文書書店㉛
- クラブハウス㉜
- 研修会館㉝
- 守衛室㉞
- 航空部格納庫㉟
- 自動車部車庫㊱



## 豊かな緑と充実した設備を誇るメインキャンパス

愛知学院大学の日進キャンパスは、1974年のキャンパス移転以来、多くの学生が学んできた大学のメインキャンパス。現在は文・心身科学・商・経営・法・総合政策の各学部生、および薬・歯学部1年生が学びを共にしています。緑豊かな50万平方メートルの広大な敷地には、学生たちが知識・技能を修得し、心を磨くための環境——最新の機器を揃えた情報処理教育センター、スポーツセンターや人間形成の場としての坐禅堂などの諸施設・設備——をゆったりと配置。約90万冊の蔵書を有する図書館情報センター、24時間利用可能で模擬法廷を備えた法科大学院棟、2008年9月完成の第1食堂など新しい施設も次々にオープンしています。さらに、第一グラウンドも全天候型の人工芝

とトラックヘリフレッシュ。大学生生活を有意義に過ごすための環境は充実の一途です。最寄り駅は、地下鉄東山線「藤が丘」駅。東部丘陵線「Linimo」の始発駅でもあり、開発が進む名古屋の発展ポイントとなるエリアです。藤が丘駅前からは名鉄バス「愛知学院大学前」が出ており、10分ほどで日進キャンパスのバスターミナルに到着します。また、名古屋駅の名鉄バスセンターからも大学直通の高速バスが運行されており、名古屋駅と大学間の所要時間は約40分です。大学周辺は幹線道路や東名高速道路が走り、都心部や周辺部から短時間でアプローチできます。また、この周辺は全国有数の学術研究の拠点でもあり、愛知学院大学をはじめ、多くの大学が集結しています。